

# 羊蹄ニセコサイクルルートにおける 路肩拡幅による走行快適性向上について

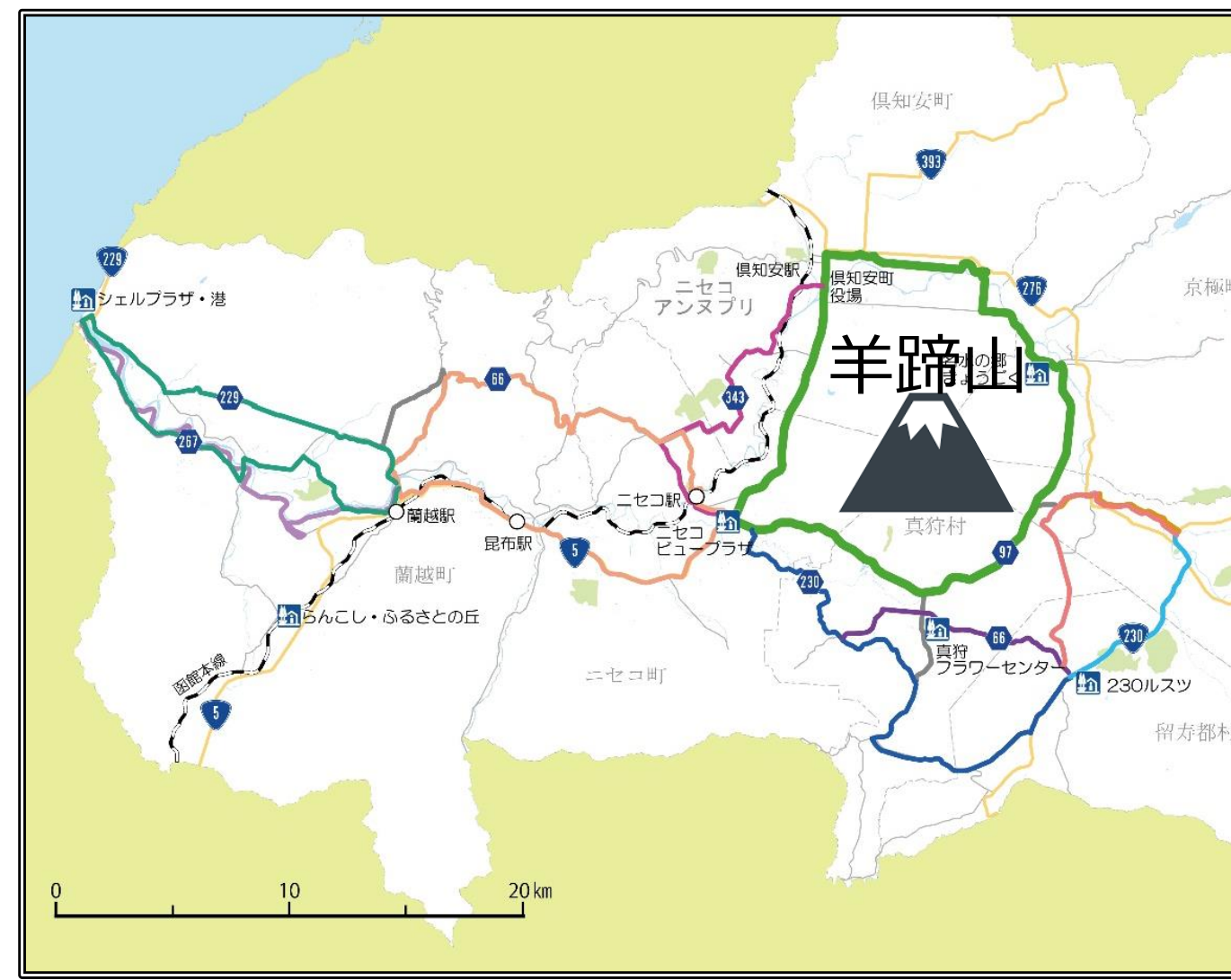
## 1 地域・ルート概要

### 羊蹄ニセコエリアサイクルルート

- ・北海道のサイクルツーリズムを推進する「北海道サイクルルート連携協議会」が登録するサイクルルートの1つ
- ・アジア唯一のUCI認定であるニセコクラシックなどの国際大会のほか多数のサイクルイベントが開催され、国内外からサイクリストが訪れている



サイクルルートから羊蹄山を臨む



## 2 課題

### 基幹コース：「エゾイチ」コース

- ・国道5号が一部含まれる
- ・幹線道路であり、自動車交通量も多い
- ・自転車と自動車在同一空間に混在
- ・路肩狭小区間あり



自動車が自転車と併走・追い越す際の  
安全性や円滑性への課題

自動車、自転車、双方の  
安全性・円滑性を  
確保する必要がある

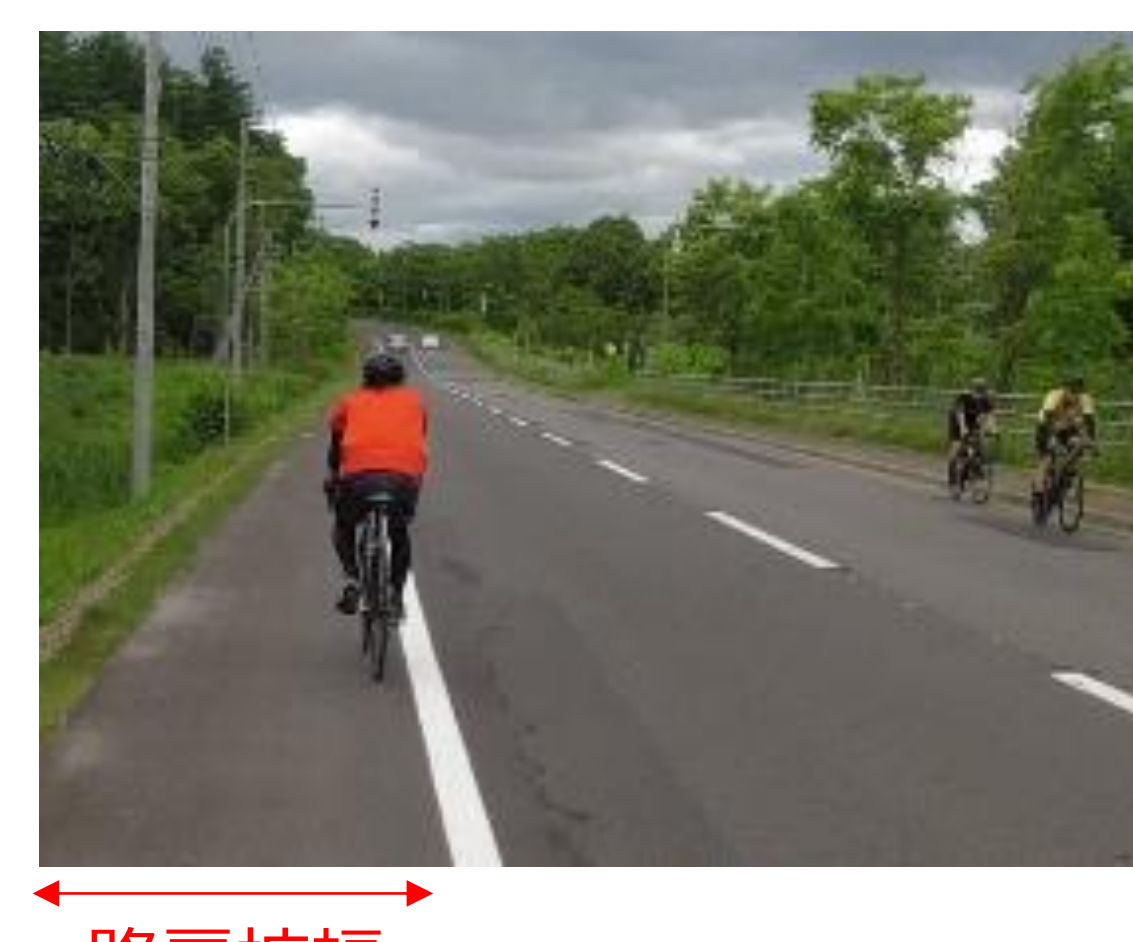
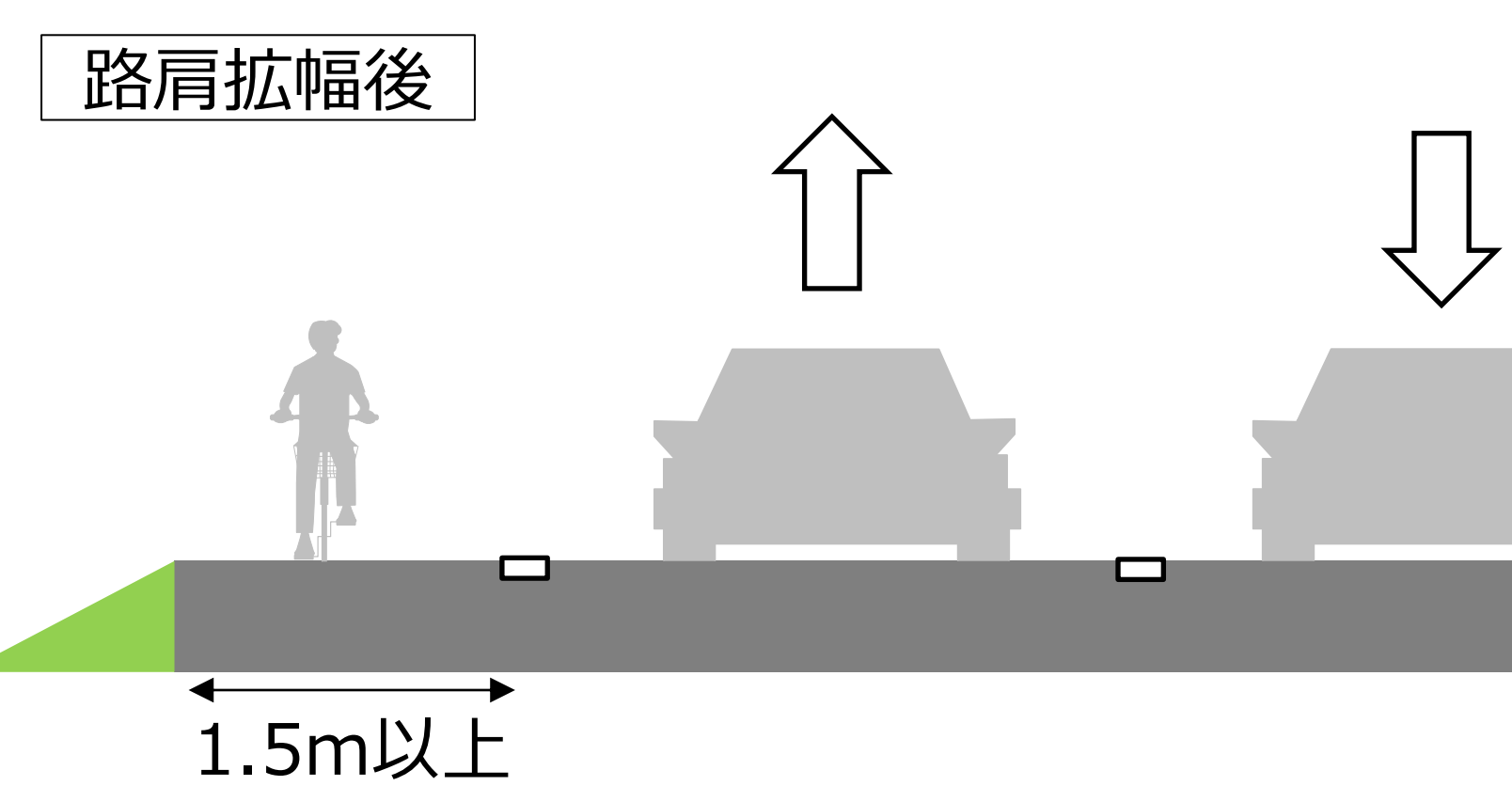
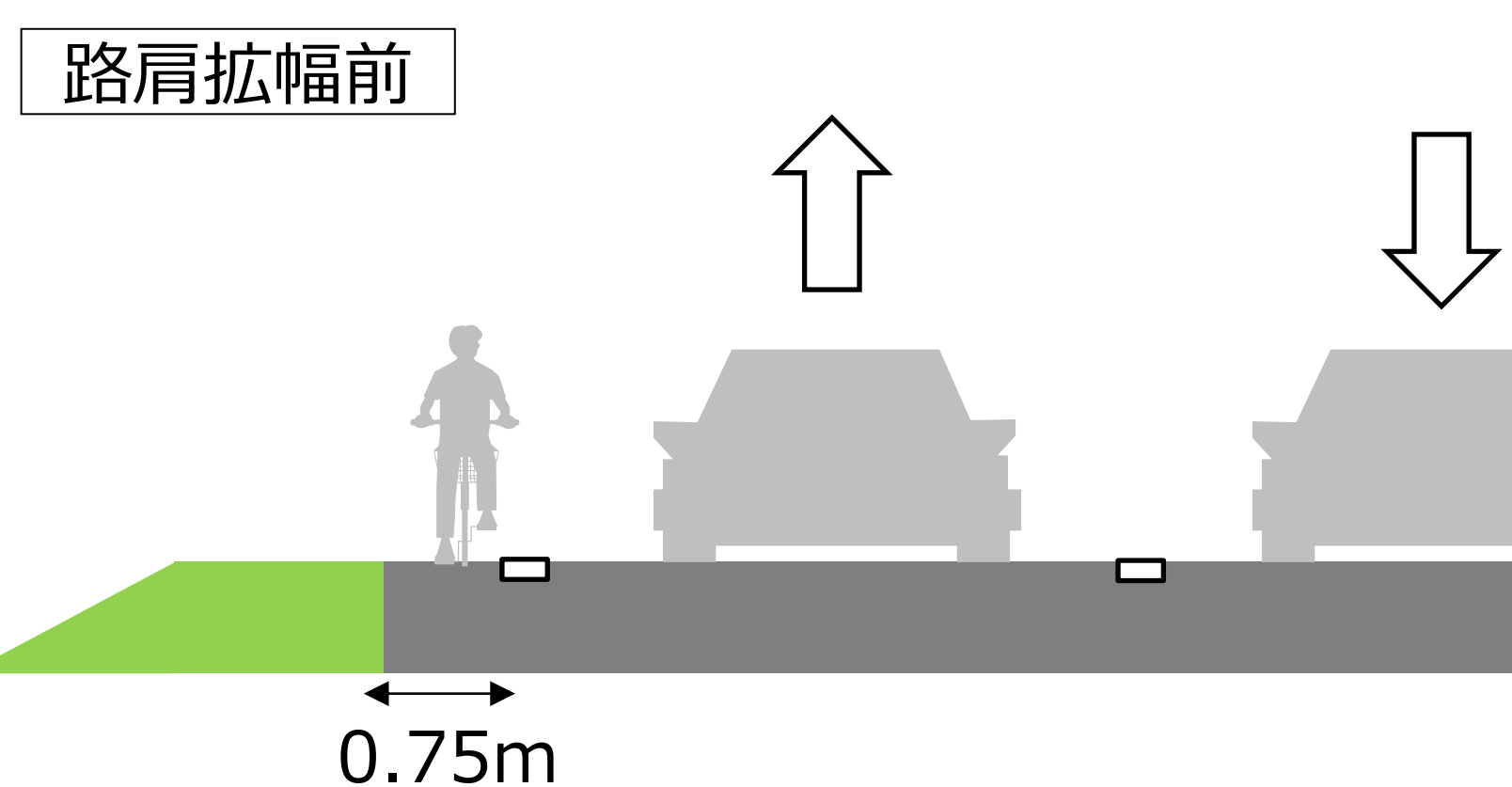


狭小路肩

## 3 対策実施 ー路肩拡幅ー

路肩狭小区間5.2kmにおいて路肩拡幅（1.5m以上確保）を実施

国道5号区間（延長12km）が  
連続的に十分な路肩幅が確保された空間に



## 4 効果分析方法

### 【調査日時】

7月末～8月末の天候の良い土日祝：計9日間  
令和5年7月23日、7月29日、7月30日、8月5日、8月11日、  
8月13日、8月19日、8月20日、8月26日

### 【調査方法】

ビデオカメラによる定点調査（撮影映像から目視での計測）

### 【調査対象箇所】

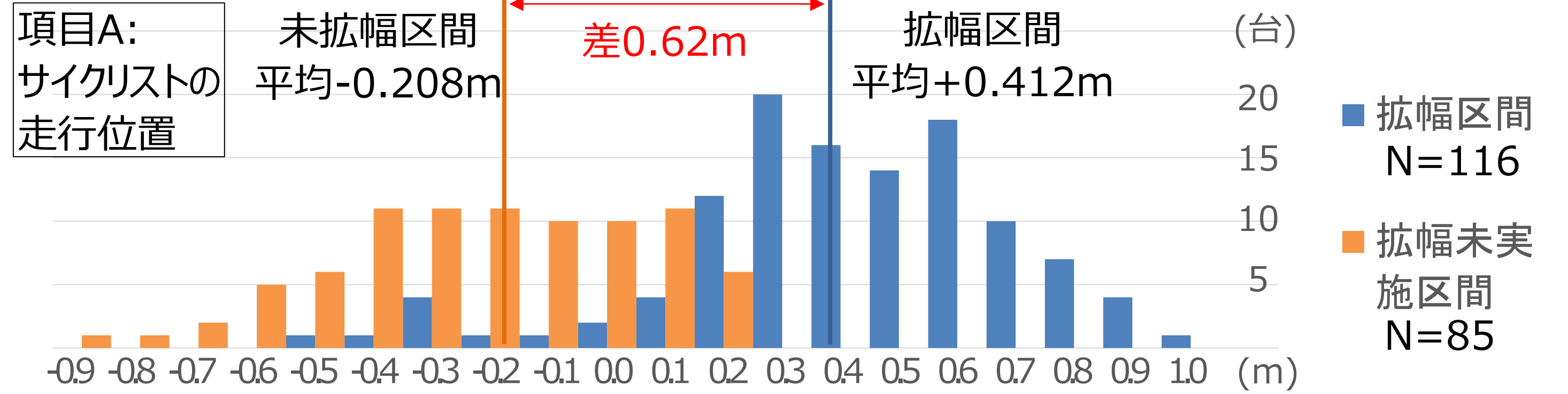
- 国道5号  
①路肩拡幅箇所（KP173.1）  
②路肩未拡幅箇所（KP171.9）

### 【調査項目】

- 項目A:サイクリストの走行位置  
外側線から車道側or路肩側  
何cmの場所を走っているのか
- 項目B:自動車が自転車を追いつく際の  
対向車線はみ出し(台数・割合)

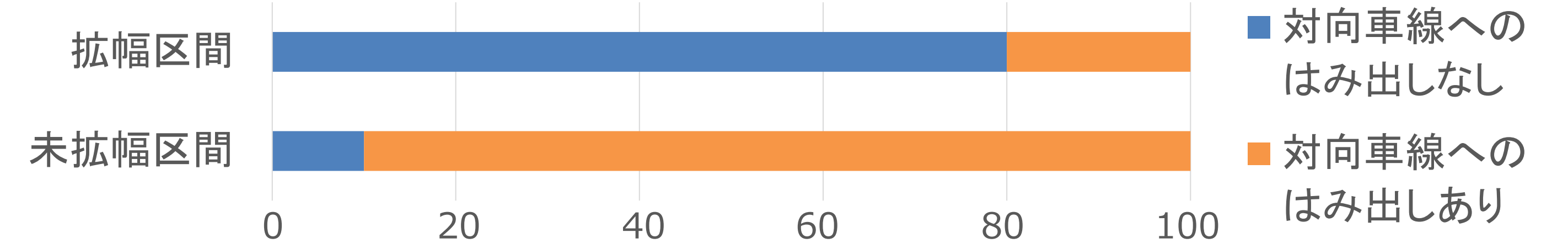


## 5 分析結果



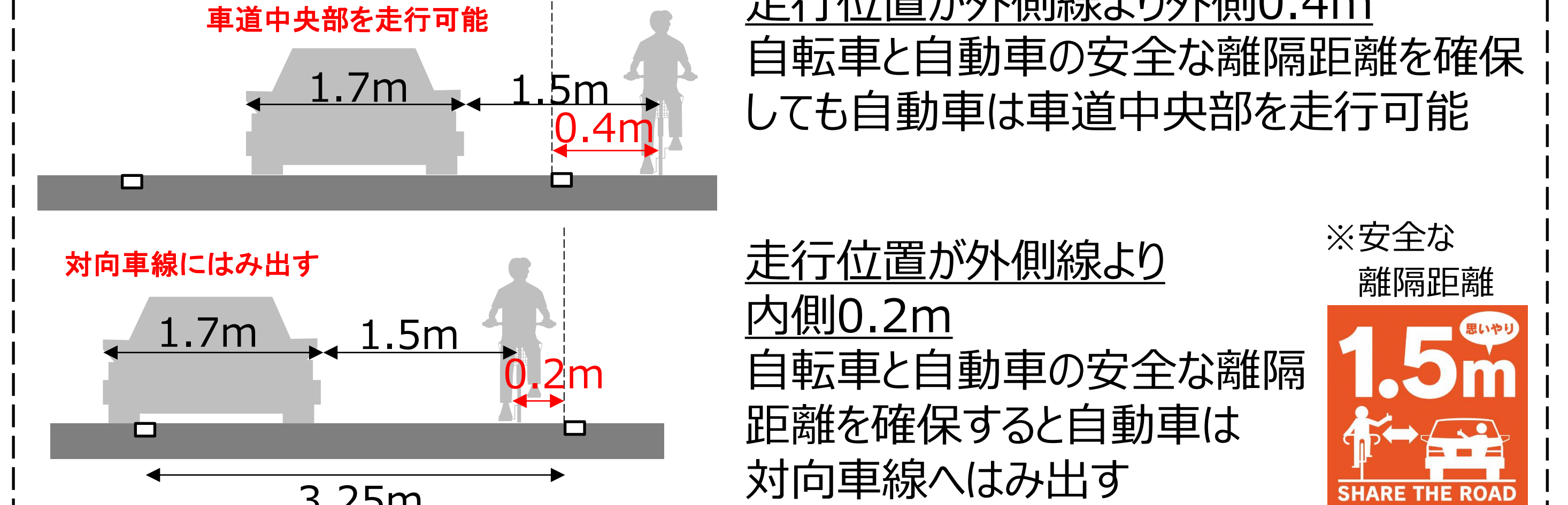
拡幅区間の方が  
未拡幅区間より  
外側(道路路外側)  
を走行している

### 項目B:自動車の対向車線へはみ出し



拡幅区間は  
未拡幅区間に比べ  
対向車線はみ出し  
の割合が低い

### <考察>



## 6 結論・今後の展開

### <結論>

路肩拡幅事業により、自転車の走行位置が変わり、自転車と自動車の離隔距離を確保しやすくなった(双方の走行安全性や快適性の向上に寄与)

### <今後の展開>

- ・自動車による自転車追い抜き時の速度や離隔距離への影響の分析
- ・サイクリストやドライバーが感じる安心感や快適性といった心理状態の分析
- 定量的・定性的データ分析による路肩拡幅の有効性の詳細把握